

第4回協議会 指摘対応事項と計画への対応結果

資料2

No.	カテゴリ	指摘事項	指摘者	対応
1	実証実験の整理について	コミュニティバスを利用しなかったときの交通手段について、他の路線バスという回答があるが、どのような内容か。	琉球交通 小橋川氏	・確認したところ7, 8割がイオン等の国道58号名護バイパス沿いの施設で乗降している人だった ・26件中2件が南北線で名桜大学で乗降している人だった
2		免許変更者の増加や高齢化が進む中で、応じて外出頻度が下がっているか確認してほしい。公共交通を通して外出を促進していくこと等も重要な視点である。	琉球大学 神谷氏	・該当するデータの有無について確認したところ、指摘の内容に十分に対応しているデータはない状況だったため、他分野も含めて今後アンケートを実施する際に、把握できるよう設問などを設けるよう調整する
3	公共交通計画の作成について	交通事業者からの要望に、「タクシーとの連携」も追記していただきたい	琉球交通 小橋川氏	・指摘事項に基づき5章 P.57において修正を行った
4		市内のコミュニティバスと広域的なネットワークの連携は必要だと思っている。短期的にも、長期的にも、交通結節点を含めた連携について注意しつつ施策の検討を進めてほしい。	琉球交通 小橋川氏	・6章 P.109の施策「名護バスターミナルの交通結節機能の強化」にてその旨を記載
5		中長期的なイメージに海上交通の記載を入れておいた方が良い。	内閣府沖縄総合事務局 齋藤氏	・指摘事項に基づき6章 P.125において修正を行った
6		国土交通省「地域公共交通計画等作成と運用の手引き」のガイドライン中の指標の記載には、標準指標、推奨指標、選択指標があり、標準指標、推奨指標については、基本的に載せることとなっている	内閣府沖縄総合事務局 齋藤氏	・ガイドラインを改めて確認し、追加した施策等にも留意して6章 P.63～65において修正を行った
7		施策と目標値について、関連性を見直して頂きたい	内閣府沖縄総合事務局 齋藤氏	・追加した施策等にも留意して6章 P.63～65において修正を行った
8		国土交通省「地域公共交通計画等作成と運用の手引き」のガイドライン中では毎年度評価が原則となっているため、毎年度出来ないものについては、理由は記載したほうが良い	内閣府沖縄総合事務局 齋藤氏	・毎年実施していくこととして、7章 P.128において修正を行った
9		指標の各交通の輸送人員について、中長期の目標はどうやって設定しているのか。	株式会社丸金交通 運天氏	・協議会時点では、名護漁港の整備効果等を見込んで、現況値から路線バスは2割、タクシーは1割といった設定で中長期の目標値を設定していた ・指標の見直しを行った結果、まずは新型コロナウイルス感染症前の水準へ戻すことを短期目標とし、中長期目標は短期目標以上を目標値として設定を更新した
10		タクシー乗り場関係について、例えば、公共施設とか商業施設、観光施設等でも、タクシーの乗り場は必要になってくるかと思うので、可能な限りで文言を追加してもらえればと思う。	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 津波古氏	・6章 P.106の「民間商業施設とのハード連携」の中で、タクシー乗り場の整備の旨を記載
11		タクシー事業者としては、ジャパンタクシーなどのユニバーサルデザインタクシーで交通弱者への対応をさせてもらっているので、計画中でも触れていただければと思う	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 津波古氏	・指摘事項に基づき6章 P.98において修正を行った
12		事例として南城市のノンステップバスが記載されているが、南城の導入後の現状や課題について、確認してほしい。	社会福祉法人 名護市社会福祉協議会 野原氏	・指摘内容を踏まえて、南城へのヒアリングを行った ・（ヒアリング結果）年間に数件、車いすの方の利用があり、市民だけでなく、観光客の利用も存在している。利用の際の事前連絡などは必須ではないが、スムーズな対応のためご協力をお願いしている。 導入後大きな問題等は発生していないが、段差や車いすの種類によっては、車いすでのバスの利用が難しい停留所があることを認識しており、課題と考えている
13		運転免許取得支援はどのぐらいの支援を考えているのか	株式会社北部観光バス 宮城氏	・運転免許の取得にかかる費用の全額を想定している
14		コミュニティバスの導入については、環境に配慮したバスにする等検討して頂きたい。	公益財団法人名護市観光協会 前田氏	・留意して来年度購入に向けて検討を進める
15		MaaSは観光だけでなく、名護市民の利便性向上にもつながるのではないか。	公益財団法人名護市観光協会 前田氏	・6章 P.100において新たに施策として追加した
16		計画全体のマネジメントについて、検証した結果を公共交通会議での報告とあるが、今後この事業の進捗・点検・検証や、計画を推進していくのは、公共交通会議での報告という表現で良いのか	社会福祉法人 名護市社会福祉協議会 野原氏	・指摘事項に基づき7章 P.128において、PDCAサイクルを地域公共交通協議会で回していくという内容で修正を行った
17		労働生産性という観点があっても良いのではないか	琉球大学 神谷氏	・路線再編やMaaS等新技術の導入等の施策検討時に、交通事業に関する労働生産性を高めるために、どのような方向性が考えられるか等、交通事業者と協調して、労働生産性についても今後検討を進めていければと考えている
18		MaaS及びシェアサイクルは住民も含めて表現してもらったほうが良い	琉球大学 神谷氏	・6章 P.100において新たに施策として追加した
19		北部エリアにおける名護市の役割は、玄関口ということだけではなく、医療や商業の拠点ということもあると思う。表現を調整してほしい。	琉球大学 神谷氏	・指摘事項に基づき6章 P.60において修正を行った
20		計画中に市民の役割や責任を記載した方が良いのではないか	琉球大学 神谷氏	・指摘事項に基づき6章 P.69～122の各施策の整理において、想定される施策の主体を記載し、その中で市民の項目を設けた